

研究利益相反審査委員会議事録

日時 平成26年 1月15日(水) 13時50分~14時00分
場所 外来管理治療棟会議室
出席者 別紙のとおり
議事内容

(利益25-09) 成人における侵襲性肺炎球菌感染症、全国サーベイランス

(利益25-10) 肺炎の多様性解明と基礎疾患病態に基づく予防・治療法確立に関する研究 (使途特定寄付金) 研究者 丸山貴也

委員長 この研究を行うに当たってファイザーから研究資金が使途特定寄付金というかたちで病院に入っていることの申告です。経理に関しては企画課が管理しているので問題はない。今後、研究成果の発表時にはファイザーからの研究資金により行ったと公表されることとなります。各委員、ご意見はありませんか。

各委員 特になし。

委員長 利益相反はないものと判定して宜しいですか。

各委員 承認。

(利益25-12) 成人の重症肺炎サーベイランス構築に関する研究

(H25-振興-指定-001) 研究者 丸山貴也

委員長 厚生労働省科学研究です。ファイザーから利益相反の可能性のある資金を得ていることを公開するということですが、ご意見はありませんか。

各委員 特になし。

委員長 利益相反はないものと判定して宜しいですか。

各委員 承認。

(利益25-13) 肺炎診療ガイドライン作成委員会委員

(日本呼吸器学会 肺炎診療ガイドライン作成委員会)

研究者 丸山貴也

也

委員長 ガイドライン作成のための委員です。ファイザーに有利になることをしないように当委員会で監視していくこととなりますが、何かご意見はありませんか。

各委員 特になし。

委員長 利益相反はないものと判定して宜しいですか。

各委員 承認。

委員長 今後、この委員会で指導、助言、監視を行っていきます。これからも透明性をもって公正に研究を進めていただく。

(利益25-11) 重症川崎病患儿を対象とした免疫グロブリンと免疫グロブリン+シクロスポリン A 併用療法の多施設共同非盲検ランダム化比較試験 (CHI-CsA-004) 研究者 篠木敏彦

委員長 厚生労働省科学研究の川崎病の治験に参加するというので、全ての項目に該当がない旨の申告書が提出されました。特に利益相反がないということで判定して宜しいでしょうか。

各委員 承認

